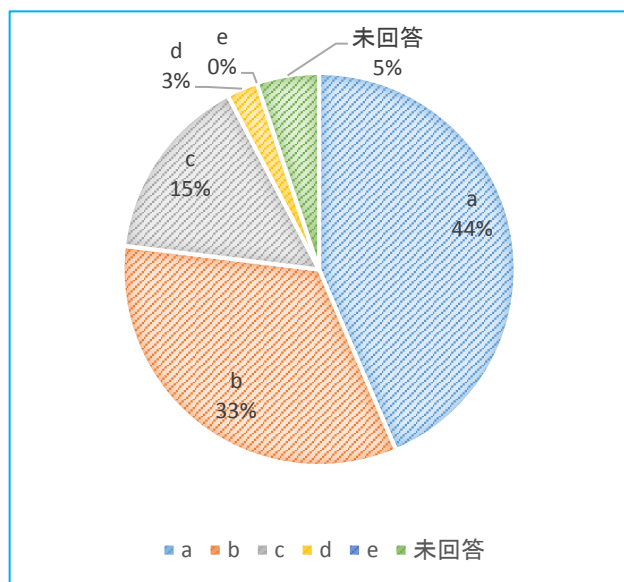


第14回 大学教育問題全学講演会
キャリア支援のあり方：「生きる・学ぶ・働く」と「多様な学び」の場
アンケート集計結果 （2019.4.11）

1. 講演はいかがでしたか。



a.大変良かった
b.良かった
c.ふつう
d.やや良くなかった
e.良くなかった

a	b	c	d	e	未回答	計
17	13	6	1	0	2	39

●「a.大変良かった」と答えた人のコメント

- ◇ いずれの内容も充実している。
- ◇ どのパートもとても有意義でした。
- ◇ キャリアについて様々な観点から学ぶことができた。
- ◇ とくに学生の登壇がよかった
- ◇ すごい学生がいるなと思いました。
- ◇ 学生の成長を理解できる企画でした。
- ◇ 学生の声がかかるのはおもしろいです。
- ◇ 学生の生の声がよかった。成果としてもわかりやすかった。
- ◇ 包括的で実際である。何より学生の発表があったことが良かった。
- ◇ 講演会の運営に学生が参画し、学生の研修発表例までもが紹介されていたこと。
日頃の通常の授業や演習で、このように学生らをブラッシュアップできないものか？
- ◇ 学生が参加したのは初めてですが、司会者、報告者ともすばらしく、これまでになく企画でよかったと思います。
- ◇ いずれの講演も大変わかりやすく、また、キャリア支援がどういうものか理解することができました。特に、学生主体で進めていたことはよかった。
- ◇ 特に学生による発表が、学生がどのように社会と接点をもって経験し、考え方が変わったか、がわかり良かったと思います。名古屋校舎だけでなく、豊橋校舎の学生もいるとより良かったかもしれません。
- ◇ ちょうど入門ゼミでキャリア形成を考えていく上で教員として取り組めることを考えていたところでした。理論的なもののみならず学生さんの報告が聞けたことで、より具体的に自分がアプローチする方向性が理解できたように思います。
- ◇ ・物事に主体性をもって接することの大切さ
・将来の見通しをもっている学生は成長する⇒主体的に学ぶから

●「b.良かった」と答えた人のコメント

- ◇ 新しい試み
- ◇ 学生も参加した形式がよかった。
- ◇ 学生の声を聴かせて頂くことができてよかった。
- ◇ 「東海キャンパるに参加して」の発表はとてもよかった。
- ◇ 学生の参加。入門演習などで、一年生に体験者の話をきかせたい。
- ◇ 社会構造の変化と教育システムの変化との関係に注目した所（視点）が良かった。
- ◇ 話がよくまとまっていてわかりやすかった。ただ、やや盛りだくさんであった。（映像を多用した発表は面白いが見ていてつかれる。）
- ◇ やや盛りだくさんになったが、各種の具体的なプロジェクトについての有益な情報も少なくなかった。学生の報告も、実体験紹介として貴重と思われた。
- ◇ 目からウロコ…的なものはなかったが、現状認識、基本的な考え方を確認できたのはよかったと思います。頑張っている学生の姿も見られて、好感を持ってました。

●「c.ふつう」と答えた人のコメント

- ◇ 学生の発表がとてもよかった。
- ◇ 新しい視点がよかったように思います。学生はがんばっている。
- ◇ 学生と教職員が自由にディスカッションする場があるととても盛り上がると思いました。
- ◇ ある程度知っている内容だったため、Learning+は、豊橋の学生も参加しやすい状況になっているのか少し疑問。
- ◇ 各視点から「キャリア支援のあり方」を語っていただき、それぞれの取組みを知ることができたという点で勉強になった。しかし、教員向けの講演会としては、どう受け止めるべきか、なかなか難しいと感じた。大学は専門性を身につけるだけでなく、教養を身につけること、自分が生きる社会を知り、どう生きるか考えることができる場でもある。また、ゼミ活動も本来的にはアクティブ・ラーニングであるはずである。その意味では、日々の教育活動とキャリア支援の「連携」がより意識されるべきではなかったか。